




# 感染拡大防止に向けた感染予防の再確認

<p>1. 健康管理 健康観察票</p>	<p><b>朝の検温を必ず行うようにお願いします。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●毎朝の健康観察・体温測定等（ご家族・お子さま）の実施 健康観察票に記入し、持ってきてください。</li> <li>●学校で体調不良が確認された場合は、別室待機し、 ご家庭からの速やかなお迎えをお願いしますので、ご協力をお願いします。</li> </ul>
<p>2. 基本的な校内での 感染予防の徹底</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マスク適切な着用（熱中症等考慮）</li> <li>●手洗い・うがい（肌が弱い児童は水道水で1分程度）</li> <li>●換気</li> <li>●ソーシャルディスタンス</li> <li>●授業の工夫、行事の縮小等</li> </ul> 
<p>3. 持ち物</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続き             <ul style="list-style-type: none"> <li>①予備マスク（2枚程度）</li> <li>②ハンカチ（タオル）</li> <li>③ティッシュ</li> <li>④ごみ袋（自分から出たちり紙等を持ち帰ります）</li> <li>⑤十分な量の水筒（熱中症予防も含む）</li> </ul> </li> </ul> 
<p>4. 心理的な配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもたちの気持ちのサポート 社会全体が感染症に伴い、様々な面で生活に制限が出ています。 ご家庭でもお子さまの不安な気持ち等をサポートしていただけたらと思います。</li> <li>例) ◆マスク着用（表情が読み取れない・着用の息苦しさ、不快さ…）</li> <li>◆ソーシャルディスタンス（親戚や友だちとのスキンシップができない…）</li> <li>◆様々な機会の活動縮小（運動会・修学旅行・野外学習…）</li> </ul> 
<p>5. 体調不良時の欠席</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お子さまが少しでも以下の体調不良を感じる症状があるとき 発熱・咳・だるさ・味覚/臭覚違和感等</li> <li>●同居されているご家族に同様の症状があるとき 同居されている家族が医師や保健所からPCR検査等受けるよう指示された場合</li> </ul>
<p><b>感染拡大した場合の方が学級閉鎖等休みの期間が長引く可能性があります。</b></p> <p><b>学校は欠席扱いにはなりません。ためらわず休むよう徹底してください。</b></p>	
<p>6. 学校への相談</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登校の不安等感じる場合、ご心配なことは学校へご相談ください。</li> </ul>
<p>7. 感染者等に対する配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症に対する不安や恐怖心等から、感染者や濃厚接触者等とその家族に対する誤解や偏見に基づく差別、いじめ等が生じないように児童に適切に指導します。</li> </ul>
<p>8. 校内で感染者が出た時の対応等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所と連携し、接触のあった児童等へ速やかに適切な対応をし、感染拡大防止に取り組めます。</li> <li>※感染拡大防止のため、学級閉鎖して対応することも考えられます。</li> </ul>

## 感染拡大防止（消毒について）

2021/09/7(火)

逗子市立久木学校

「接触感染を避ける方法として、手洗いを徹底します。」

手指用の消毒液は、流水の手洗いができない際に、補助的に用いられるものです。

基本的には流水と石けんでの手洗いを指導します。」



※参考文献：学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～p.30

(2021.4.28 Ver.6)(令和3年5月28日一部修正)

[https://www.mext.go.jp/content/20210514-mxt\\_kouhou01-000007426\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20210514-mxt_kouhou01-000007426_1.pdf)

消毒に際して、子どもたちに伝えていただきたいこと。

### ①消毒の方法は、個人で選べること。

- ・ 傷がある人、肌が弱い人にとっては、とてもしみて痛いです。  
そして、傷などが悪化してしまい、治りにくくなってしまいます。
- ・ アルコールに対して、アレルギーや過敏なため症状が出てしまう人もいます。

### ②一人ひとり考え方や状況が違うこと、押し付けないこと

感染予防に関しても、今までの生活のように  
一人ひとりの考え方や状況があります。自分の考えを人に押し付けないように。

		実施している方法等	
●教室等の消毒	実施時間 消毒種類	下校後消毒(担任) 逆性石鹼水(塩化ベンザルコニウム) ※衛生管理マニュアル 参照	
●給食前 机等消毒	児童机	水拭き	・アルコール過敏や低学年への危険性の恐れがあるため、 水拭きで実施しています。 ※消毒への不安がる家庭は、 <b>ランチョンマット等</b> を 毎日持参していただくのが良いかと思います。
	配膳台等	アルコール	・配膳職員はエプロン、三角巾、マスク着用